



第二東名高速道路建設に伴う発掘成果

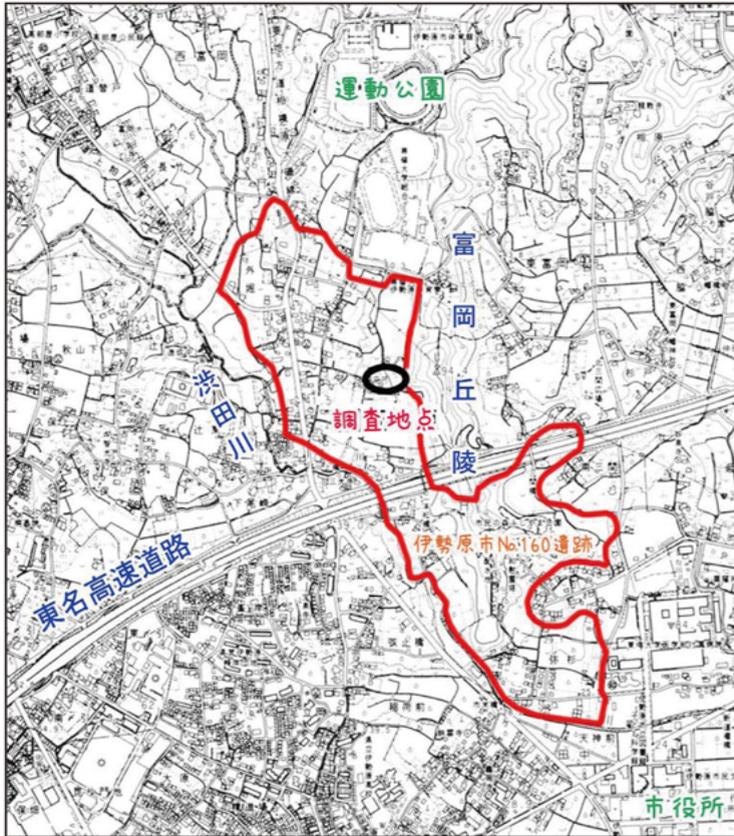
# にしとみおか おこうばた 西富岡・向畑遺跡 (伊勢原市No.160遺跡)

## 縄文時代の埋没谷を発掘

にしとみおか おこうばた  
西富岡・向畑遺跡の発掘調査

伊勢原市西富岡に所在する西富岡・向畑遺跡は、中日本高速道路株式会社が計画する第二東名高速道路建設に伴う事前調査として、2007年4月から発掘調査を実施しています。

西富岡・向畑遺跡では、これまでの調査によって、台地上からは縄文時代中期・後期の集落跡、台地脇の埋没谷からは土坑や木組などの遺構が発見され、たくさんの遺物が出土しています。ここでは、県内でも珍しい埋没谷の中で発見された遺構を紹介します。



遺跡の位置

### これまでの主な発見遺構と出土遺物

#### —発見遺構—

中・近世: 竪穴建物、掘立柱建物、地下式坑、地下室、道、溝、井戸、土坑 など

古代(奈良・平安時代): 竪穴住居、竪穴状遺構、掘立柱建物、円形土坑、土坑 など

縄文時代: 敷石住居、集石、配石墓、埋甕、带状粘土列、土坑、木組 など

旧石器時代: 礫群

#### —出土遺物—

中近世: 陶磁器、かわらけ、硯、宋銭 など

古代(奈良・平安時代): 土師器、須恵器、灰釉陶器、瓦、銅製品(銚帯金具・巡方・丸鞆)、金銅製品(飾り金具)、鉄製品(刀子)、石製品(砥石・温石)、土製品(土錘) など

縄文時代: 縄文土器、打製石斧、磨製石斧、管玉、石棒、石皿、石鏃 など

旧石器時代: 槍先形尖頭器(安山岩)、剥片(黒曜石) など



木組とJ16号土坑(南から)



木組と土坑(南東から)



J11~13号土坑(東から)



木組の加工材近景(北から)



加工材の接写



J13号土坑 彩色土器

1区の埋没谷で発見された遺構の写真です。ここからは土坑・杭列・木組などがみついています。木組は、加工材などを川上から川下に直線的に並べられています。部分的に大きな礫が密集している箇所があり、水の流れを制御していたと見られます。また、土坑からは、クルミやトチなどの堅果類の他に、加工した木材や石器、礫などがみついています。J6号土坑では加工材を取り上げた下から網代が出土しました。



J6号土坑 網代



土坑内クルミ出土状況

おおよその年代

35000年前 15000年前 2500年前 1700年前 1300年前 800年前 400年前 1500年前

旧石器時代

縄文時代

弥生時代

古墳時代

古代

中世

近世



上の写真は、1区の埋没谷を南側から見た写真です。谷底は水が流れる湿った場所で、東側に川上から川下へ一列に並んだ土坑群と谷底中央に作られた杭や横木を組み合わせた木組などがみついています。土坑の中からは、大量のクルミ・トチの実などが出土しています。